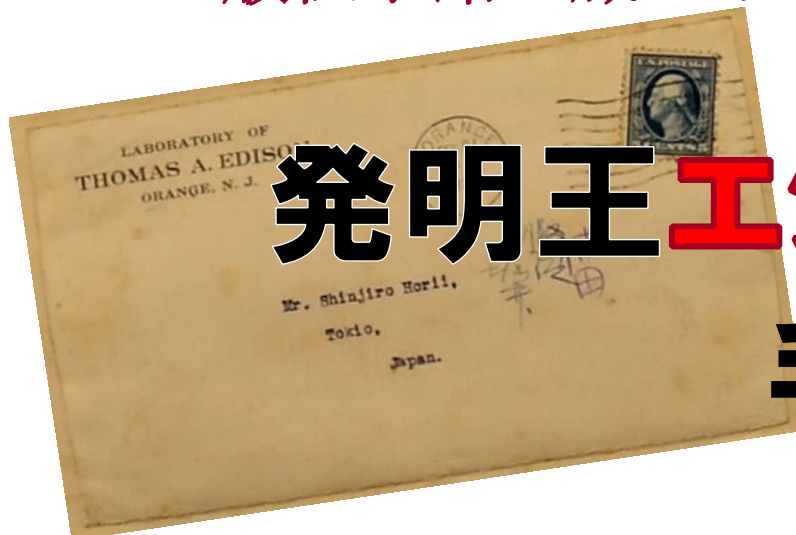


ガリ版伝承館の蔵から 100 年の時を超え



発明王エジソンからの 手紙発見！

ごあいさつ

本市では、令和3年4月からガリ版伝承館(蒲生岡本町)の収蔵資料の整理を進めており、このほど発明家トーマス・エジソンから堀井新治郎にあてた手紙が見つかりました。

明治26年(1893)、初代堀井新治郎(元紀)は、シカゴ万博でエジソンが発明し、実用化されたミメオグラフに出会いました。帰国後、それに刺激を受け、息子の耕造(二代目新治郎・仁紀)と力を合わせて、日本の文字に適するよう改良を重ね、誰もが簡単に印刷できる安価な謄写版(ガリ版)を国産で初めて製造販売し、日本印刷史に革命を起こしました。

今回発見された礼状は、堀井新治郎とエジソンの交流がうかがえる貴重な資料です。他にもエジソンに関わる書簡・電報などを含め、現在計8点の関連資料が確認できました。

今後も収蔵資料の整理を進め、貴重な謄写版資料の存在を広く皆様に知っていただき、調査研究等の活用につなげたいと考えています。

令和4年7月
東近江市ガリ版伝承館

100年の時を超え発明王エジソンからの手紙発見！

明治26年(1893)、初代堀井新治郎(元紀)は、息子の耕造(二代目新治郎・仁紀)と力を合わせて簡易印刷器の開発に本気で取り組み始めます。同年3月、海外の印刷事情を視察する目的で渡米し、シカゴ万国博覧会でエジソンが発明、A・B・ディック社が実用化したミメオグラフに出会いました。翌年、これを参考に誰もが簡単に印刷できる、安価な謄写版(ガリ版)を国産で初めて製造販売し、広く普及させ、日本印刷史に革命を起こしました。

今回発見された1922年2月16日付けのエジソンの礼状は、アメリカ合衆国ニュージャージー州在住のエジソンから東京の堀井新治郎宛てで、自身の75歳の誕生日を祝ってくれたことへの感謝が述べられています。

この礼状の背景を調べると、大正11年(1922)2月11日、エジソンの誕生日に、渋沢栄一を会長として、東京で発明王エジソンの75歳の誕生日を祝う会が、国際親善事業として盛大に開かれていることがわかりました。堀井新治郎は、この会を発案した帝国発明協会の会員で、その祝賀会に堀井新治郎が参加、または賛同してエジソンに祝辞を送り、その返礼として送られたものと思われます。

本状は、エジソンが発明したミメオグラフに刺激を受け、国産初の謄写版を製造販売した堀井新治郎とエジソンの交流がうかがえる貴重な資料といえるでしょう。

【エジソン (1847年2月11日-1931年10月18日)】

トーマス・アルバ・エジソン。アメリカ合衆国の発明家・起業家。通信機、謄写版、蓄音機、白熱電球の実用化、映写機、録音機、ラジオなど、人びとの暮らしに変化をもたらす様々な発明と技術革新を行った。その数1000件以上にも及ぶとされ、「発明王」と称された。

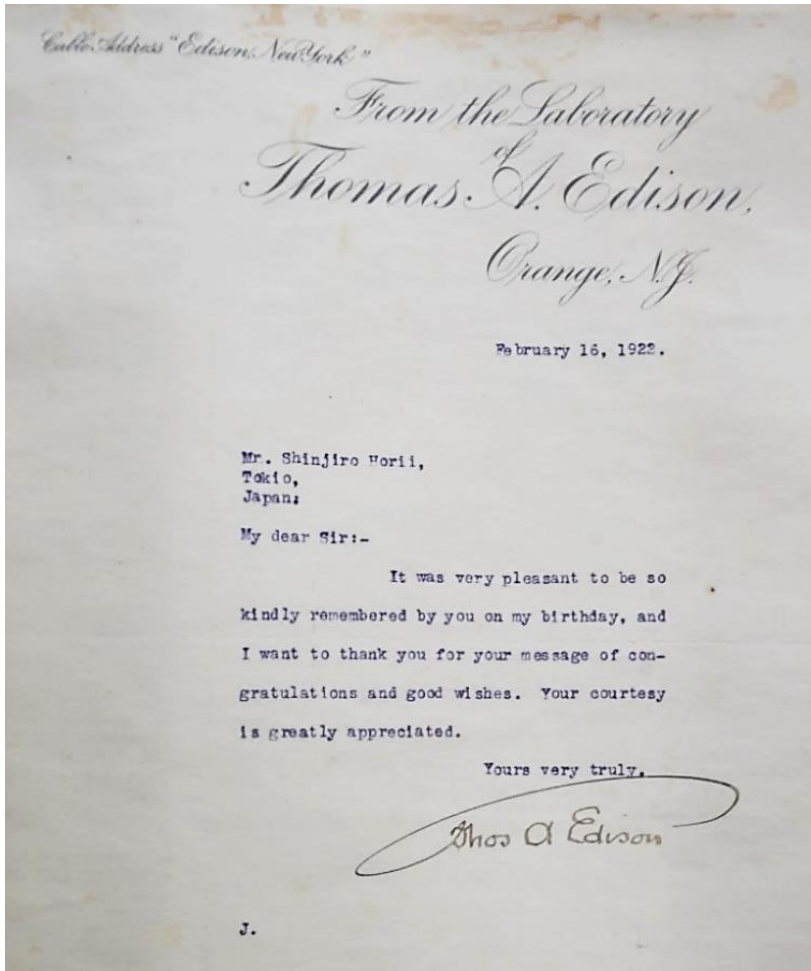
【エジソン75歳の誕生日祝賀会】

大正11年(1922)2月11日、東京で「エジソン翁第75回誕辰祝賀会」と題し、発明王エジソンの75歳の誕生日を祝う会が渋沢栄一を会長として、盛大に開かれた。電気学会・照明学会・啓明会・蓄音器商組合・活動写真同業者等、有志団体の賛同を得て、日本工業倶楽部において開催。来会者は224名。

本会は、発明を奨励するため、大正10年(1921)帝国発明協会の発案で、学界・実業界・官界・新聞社・有志と帝国鉄道協会などによる祝賀会の開催を企画。国際親善の目的で国際記念事業として開催した。

当日は、祝賀会の会場からアメリカ合衆国ニュージャージー州オレンジパークのエジソンに電報で祝辞を送っている。

(参考：渋沢栄一記念財団 デジタル版『渋沢栄一伝記資料』)



1922年2月16日

堀井新治郎様

私の誕生日を覚えていてくださり、とても嬉しく思います。お祝いの言葉とお気持ちをありがとうございます。あなたのご厚意に大変感謝申し上げます。

トーマス A エジソン



エジソンからの礼状の調査をしていたところ、堀井新治郎がエジソンから送られた礼状と同文面の礼状を、当時日本を代表する化学者として知られていた高峰譲吉博士が所持していたことがわかりました。

高峰博士はエジソン宛の手紙のコピーを保存しており、そこには、東京で開催されているエジソンの祝賀会に賛同し、祝辞を送っていることが記され、この返礼としてエジソンから堀井宛の礼状と同じ文面の手紙を受け取っていました。

手紙の日付から、高峰博士の手紙に記されたエジソンの祝賀会というのは、渋沢栄一が会長となって東京で開催した「エジソン翁第75回誕辰祝賀会」だと推定され、堀井新治郎がエジソンに送った誕生日祝いのメッセージもこのようなものだったのではないかと考えられます。

【高峰譲吉（1854-1922）】

明治・大正期の化学者、実業家。

日本初の人造肥料開発やタカジアスターゼ（消化酵素）を発見、世界で初めてアドレナリンの抽出・結晶化に成功し、アメリカで事業化に成功。現在の第一三共(株)の前身である三共(株)の初代社長であり、渋沢栄一とともに理化学研究所などの創設にも関わった。

大切に残されたエジソン関連資料

令和3年4月からガリ版伝承館の蔵の資料整理を進め、現在約4,000点の資料目録を作成できました。その多くは堀井家の歴史を表わす資料、堀井謄写堂の経営資料、そして堀井製の謄写版のほか、商品開発のために参考にしたと思われる謄写版器材や謄写版印刷物の資料です。

堀井家所蔵の資料群の中には、黄土色の表紙の大きく分厚い台帳が約280点あり、これらは堀井謄写堂、あるいは堀井家に関するさまざまな文書が分類されています。台帳には業務、店員、取引重要書類、印刷見本、図案集、村方、社交、感状、慶事、仏事、家族などの表題がつけられ、冊子ごとに丁寧に糊づけされていました。今回発見されたエジソンの礼状や関連の書簡、電報はこの台帳の「感状1」と「社交2」の中に残されていたものです。

エジソン関連書簡・電報一覧

NO.	差出	受取	内容	日付	備考
1	エジソン	堀井新治郎	誕生日祝いメッセージに対する御礼	1922年2月16日	「感状1」所収、高峰謙吉所有の礼状と同文
2	堀井新治郎	エジソン	エジソン病気につき見舞い電報（控）	1931年10月7日	「社交2」所収
3	堀井新治郎	エジソン	エジソン病気につき見舞い状（控）	1931年10月9日	「社交2」所収
4	J.V.ミラー（エジソン研究所秘書）	堀井新治郎	見舞い状の御礼とエジソンの病状について	1931年10月9日	「社交2」所収
5	堀井新治郎	エジソン家	エジソン逝去につきお悔やみ電報（控）	1931年10月19日	「社交2」所収
6	堀井新治郎	エジソン家	エジソン逝去につきお悔やみ状（控）	1931年10月23日	「社交2」所収
7	J.V.ミラー（エジソン研究所秘書）	堀井新治郎	これまでの親交に対する礼状	1931年11月10日	「社交2」所収
8	エジソン家	堀井新治郎	お悔やみに対する御礼メッセージカード	1931年11月23日	「社交2」所収



東近江市ガリ版伝承館

住所 〒529-1521 東近江市蒲生岡本町 663

入館料 無料 開館日 土日のみ

開館時間 午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

問合せ ガリ版伝承館〈土日のみ〉IP 050-5802-2530

近江商人博物館 TEL 0748-48-7101